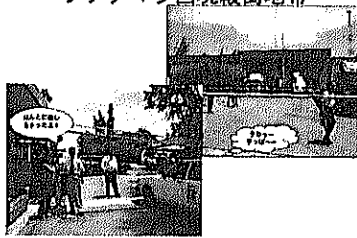


首都テグシガルバ



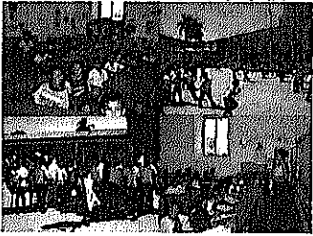
グアテマラ国境緩衝地帯



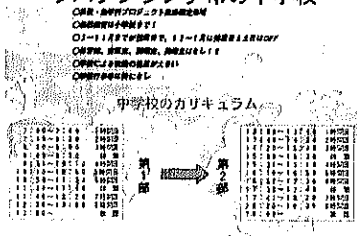
日本大使館



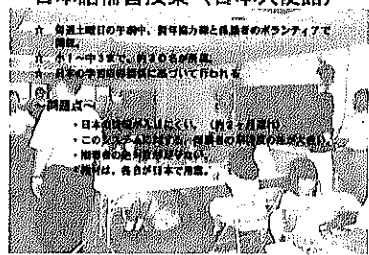
サバナグランデの小学校



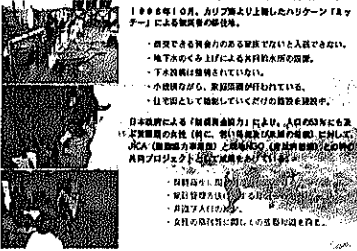
サバナグランデ市の中学校



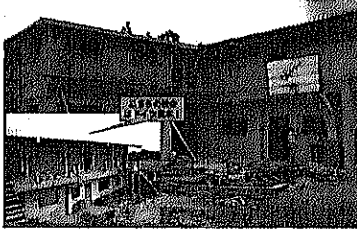
日本語補習授業 (日本大使館)



ADRA~国際援助機構~現場視察



日本の資金援助で建設中の小学校



看護教育研究センター

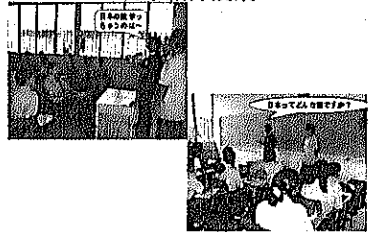
ホストファミリーと協力隊員



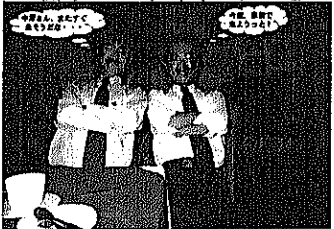
Arlita Santos家



日本紹介授業



最高のコーディネーターと



- ★ アンテナを高く持つ (情報収集力)
- ★ チャンスを生かす努力 (自己啓発力)
- ★ 数多くの人との出会い (外交力)
- ★ できることから始める (実践行動力)



Walking Our Way

お疲れ様でした。

みんなでホンジュラスへ

岩本辰明

TATSUAKI IWAMOTO

福岡県田川市立金川中学校 / 社会科

実践教科 / 社会科

時間数 / 4時間

対象生徒・学年 / 金川中学校全校生徒

対象人数 / 268名

カリキュラム案

■実践の目的

- ① 世界の人々の生き方を、経済的・物質的な側面だけで見つめるのではなく、子どもたちに日本人として学ぶべきことを多く見つけさせ、世界の国々に

対する理解を深めさせる。

- ② ホンジュラスについて主体的な感覚で学習することを通して海外に興味を持たせ、「自分もいろんな国に行ってみよう」といった意欲・関心を持たせる。

■授業の構成【合計4時間】

時間 / ①テーマ / ②ねらい

方法・内容

使用教材

1時間

- 「みんなでホンジュラスへ」
- ◎ホンジュラスの概要を理解させ、興味を持たせる【形態 各クラス】

- ・生徒自身がホンジュラスに行くという形を想定させ、現地の人や協力隊員などに対する質問を考えさせる。
- ・ホンジュラスに派遣されていた隊員の方から聞いた情報を生徒たち全員が実際に旅行に行くという立場で伝える。

白地図
事前研修の資料をまとめた学習プリント

2時間

- 「ホンジュラスへ行ってみよう」①
- ◎ホンジュラスの様子を感覚として捉えさせる【形態 各クラス】

ホンジュラス研修

- ・現地の人が写っている5枚の写真を利用し、生徒に興味のあるものを選び、生徒自身にその人物に会って触れ合ったと仮定させて、その人物についてのストーリーを考えさせた。
- ・まだ、詳しいホンジュラスについての情報は与えない。

5枚の写真 (資料1)
学習プリント (資料2)

3・4時間

- 「ホンジュラスへ行ってみよう」②
- ◎教師の写した写真・ビデオ・講話を通してホンジュラスの様子を知る【形態 全校生徒・教職員】

- ・自分が撮影したビデオを使い視覚に訴える形で報告会を行う。
- ・授業の終わりにワークショップを取り入れ国際協力のあり方考えさせる活動をおこなう。

ビデオ
写真

授業の詳細

■授業設定の理由

世界の人々の生き方を、経済的・物質的な側面だけで見つめるのではなく、日本人として学ぶべきことを多く見つけてきたいと考えていました。厳しい生活状態の中で、日々を人々が協力しあいながら生きる中で、物で満たされ日本人の人たちには見られない、生活の工夫、人々のがんばり、優しさが見られるのではないかと考えました。そのことを日本の子どもたちに伝えることにより、偏見《差別》を植えつけることなく世界の国々との相互理解を深めることにつながると考えました。また、このような活動を通して、少しでもホンジュラスや海外に興味を持ってもらい、「自分もいろんな国に行ってみたい」といった意欲・関心を持たせることそれが国際理解、開発教育の第一歩ではと考えました。

■具体的な授業の流れ

1時間目

生徒に主体的に考えてもらうために『みんなでホンジュラスへ』と題して事前学習を行い、生徒自身がホンジュラスに行くという形を想定させ、現地の子どもや青年海外協力隊員などの日本人に対する質問を考えさせ、私がそれを代わりに聞いて報告するという形を提案しました。

ホンジュラスの国名を知っている生徒が全校で10名程度でした。そのような実態の中、ホンジュラスに派遣されていた隊員の方から聞いた情報を生徒たち全員が実際に旅行に行くという立場で伝えました。事前研修で私の聞いた話は治安の悪い面や経済的に苦しい面などホンジュラスの負の面ばかりでしたが、生徒全員がホンジュラスに行くという視点でしたので、あえてそのことをそのまま生徒たちに伝えました。

事前学習の結果、子どもたちは以下のような反応を残しており、ほとんどの生徒が悪いイメージを持ったようです。また、全校生徒の95%以上の生徒がホンジュラスには行きたくないと答えていました。

子どもたちの感想〈ホンジュラスのイメージ〉の一部

危険地帯／怖そうな国／あまり行きたくない／
そんなに危ないのか／怖い／帰って来れそうにない

子どもたちの質問内容の一部

- 住んでいて不便な事はないですか。
- 将来何になりたいですか。
- 自分の国が好きですか。

このような事前学習とその後の学習のギャップの大きさからどのようにホンジュラスについてイメージが変わるか、どのように興味を持つかを期待したのと同時に、「いろいろな国に行ってみたい。」という感想を導き出すようなものにしたと考えていました。

2時間目

帰国後も全学年生徒を対象に授業を仕組みました。子どもの興味関心を高め、子どもたちの主体的な活動を取り入れるため、いきなり自分がホンジュラスの様子を話すのではなく、現地で写した5枚の写真を利用した授業を取り組みました。

5枚の写真【資料1参照】には観光客相手にお土産を売って生活をしている少年の写真など、現地の人々が写っている。この中から興味のある写真を選ばせ、最低限の写真の情報を与えて、写真に写っている人物についてのストーリーを考えさせた。まだこの段階ではホンジュラスの実際の様子について詳しく説明して無かったが、下の女性徒の書いているように、たった一枚の写真から、現地の人々の優しさや気質などを鋭く捉えてくれた感じがする。

2年生 女子生徒Aのメッセージ (市場で働く女性の写真を選ぶ)

ストーリー

私はベルニ、50歳です。現在市場で働いています。たまたま通りかかった日本の男性を呼び止めて商品売りつけている所です。バナナが好きそうな顔をしていたのですぐを買ってくれると思いましたが買ってくれるまで意外と時間がかかったんです。

将来も、このままで生きて行きたいです。今結構幸せなんで…。

感想

やっぱり怖そうな所と思ったけど、なんかにぎやかそう！ベルニさんのことすごく気に入った。

【他の感想もワークシート資料2参照】

このように、事前学習とは全く違った考えを生徒たちは残すようになった。たった一枚の写真から人々の明るさ・やさしさ・がんばりを感覚としてつかんでくれたと考えている。

3・4時限目

さらに、今度は実際の姿を伝えるために帰国後の2学期に、自分が撮影したビデオを使いなるべく視覚に訴える形で報告会を全生徒、教職員を対象に行いました。自分の実際に見てきた、協力隊員の方々のがんばり、私の出会ったホンジュラスの人々のやさしさ、現地の日本語補修校で出会ったホンジュラスに魅力を感じながら生活する日本の子どもたちの様子を知らせるなどホンジュラスのプラスの面も多く伝えていきました。また、事前学習で生徒に考えさせた質問について、現地の人から聞いてきた答えを生徒に発表し伝えました。

全校生徒を対象にし、時間も長いので子どもの集中力が途切れないか心配しましたが珍しい映像が多かったため、意欲的に集中してビデオを見ていました。授業の終わりにワークショップを取り入れ、国際社会の中で自分の在り方を考えさせる活動をしました。生徒は次のような感想を残していました。

生徒の感想

○3年生 B

最初はあるまりよくない印象をもっていたが、今日の先生の話していたことを考えると日本とは別の意味で良い国なのかも知れない。

○1年生 C

最初は、引ったくりとか銃を持っていて怖くて行きたくないと思っていたけどなんだかおもしろそうだった。行ってみたいと少し思った。

また、事前学習と同じように『ホンジュラスに行きたいか』という質問をしたところ、2割ぐらいの子どもが『ぜひホンジュラスに行ってみたい』と答えてました。また、『機会があれば行ってみたい』と答えた生徒もいれると5割以上になりました。

■その後の取り組み

これらの取り組みを、さらに続け深めるため、実際にホンジュラスに触れ合ってもらいたいと考えました。現在2年生数人が、自分がホンジュラスで会った日本人の中学生とEメールの交換を行っています。このような取り組みから世界をもっと身近に考えてほしいと考えています。

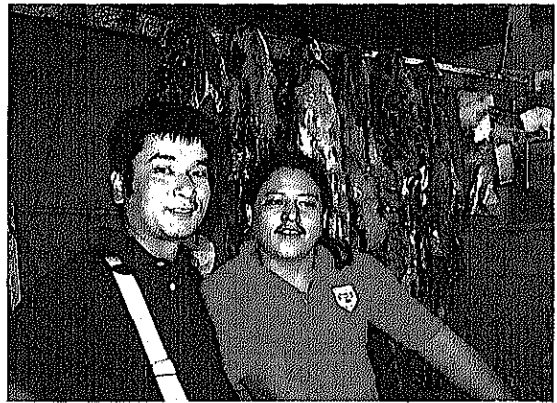
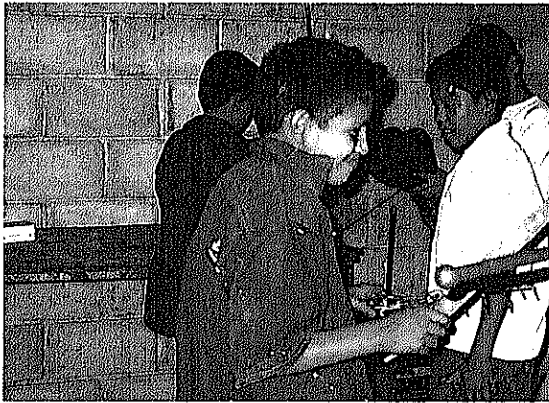
今回の研修では多くの小学校の様子を視察することができましたが、わが校区では小中連携を推し進めており、小学生にも今回の研修の様子を授業交流の中で紹介して、中学校での開発教育につなげていきたいと考えています。

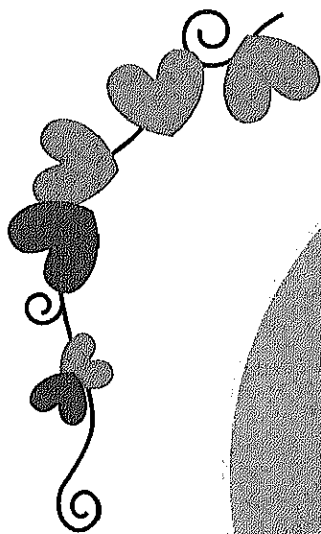
■学習を振り返って

今回の学習で、事前に比べホンジュラスなど外国の様子に興味を持ったという感想を書いた生徒が多く見られるようになった。「怖いから行きたくない」のではなく、「覗いてみれば結構面白かった。」など意外な発見を持つことができることを子どもたちは感じてくれたのではなかろうか。自分はODAなど具体的な国際協力のあり方など考え方を知ることも大切だと思うが、まずはそれを知るためにも海外を自分で覗き知ることが大切ではないかと考える。このことは他の人を知り、偏見を無くしていくことにも必然的につながることだと考えます。

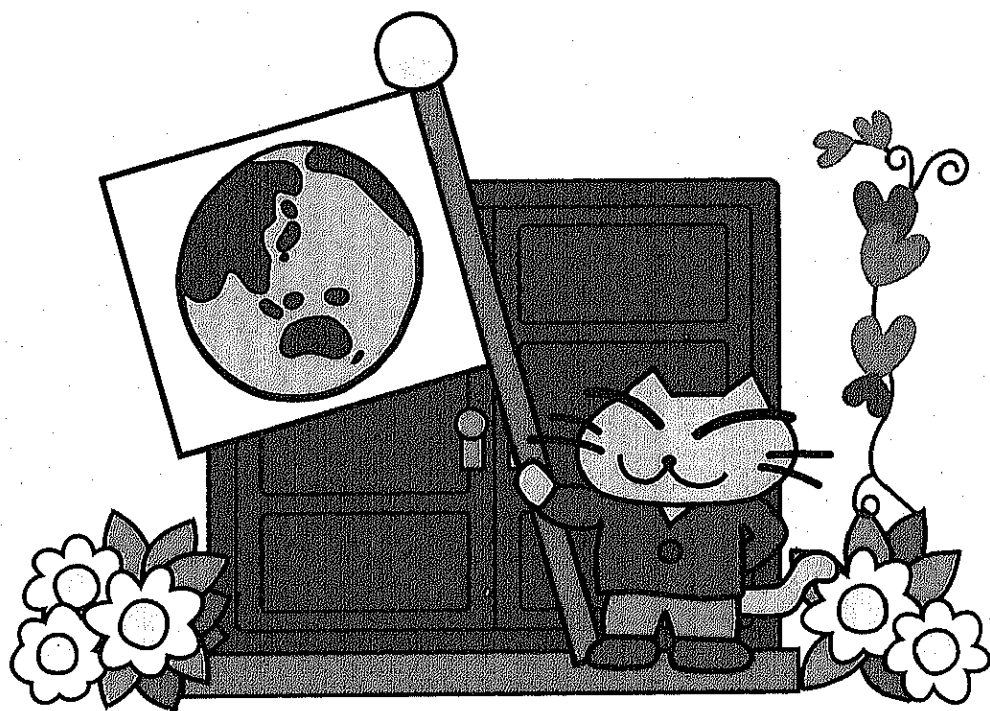
今回の研修で、全校生徒全員がホンジュラスの名前を覚えてくれたと確信している。これだけでも大きな成果があったのではないかと考える。まだ、学習はこれで終わりではなく今後も継続的に行っていく、世界へ羽ばたいていける生徒をひとりでも多く育てることができればと考えている。

資料1





參考資料

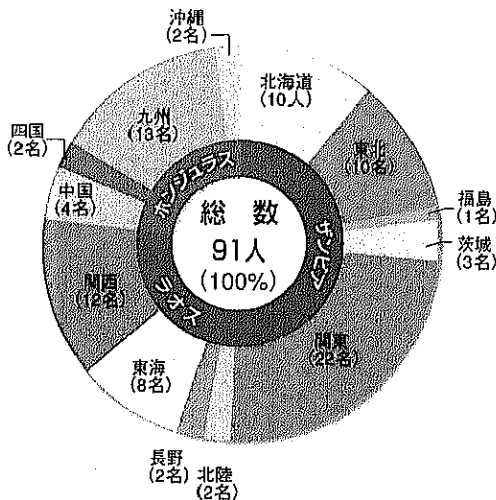


国際研修

■機関別応募状況

募集期間：平成13年1月28日～5月10日

応募総数：91名



事前研修

■国内機関研修

実施時期：平成13年6月～7月

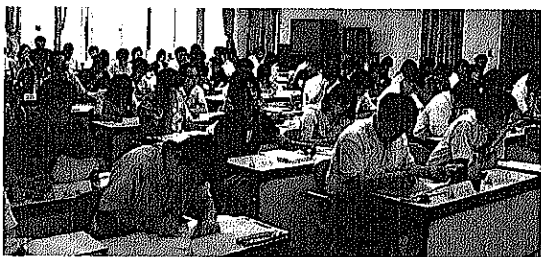
実施場所：国際協力事業団各国内機関

研修内容：開発途上国の現状と課題
ODAとJICAについて

■東京研修

実施時期：平成13年7月30日(月)～31日(火)

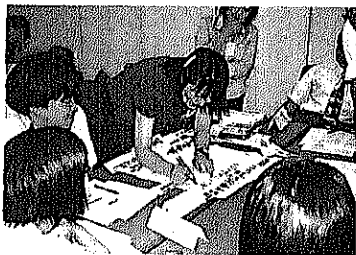
実施場所：JICA東京国際研修センター (TIC)



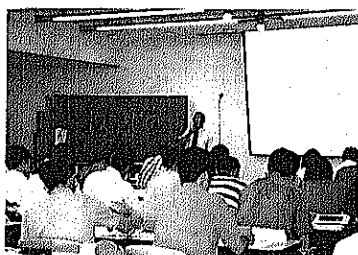
中学校・高校合同による、東京研修。積極的な情報交換をめざして。



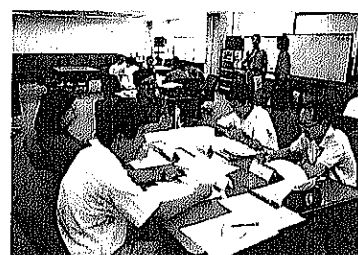
グループの結束もばっちり。行って来ませう!!



研修をどう活用するか？グループ毎に、授業モデル案を作成中。



研修参加の武部教諭から、ネットワークを大切にした総合的な学習の実践事例。熱心に聞き入る参加者たち。



ロールプレイ実演中。開発教育ワークショップを実践。

東京研修 編

7月30日(月)

第1日目

参加者同士の親睦を図り、且つ、お互いの状況を理解しながら、問題意識・課題の共有を図ることを目的として実施。

13:00~	受付開始	TIC本館ロビー
14:00	開会 1. 主催者挨拶 国際協力事業団 理事 藤訪龍 2. TIC概要説明 JICA東京国際センター (TIC) 研修特別業務室 大杉健一 3. 事前研修予定説明 JICA国内事業部 国内連携促進課 実川幸司/鈴木幸枝	オリエンテーションルーム
14:20~	自己紹介 ※2グループにわかれる	セミナールームC, D セミナールーム15
15:20~	テーマ別ディスカッション ・教科や学校で抱えている問題を出し合い、関心のあるテーマについて話し合いながら、模擬授業案を作成する。	セミナールームC, D セミナールーム15
17:20~	休憩 (10分)	
17:30~	テーマ別ディスカッション発表	セミナールームC, D セミナールーム15
18:30~	休憩 (15分)	
18:45~	事例発表 ・円蔵中学校の取り組み	オリエンテーションルーム
19:15~	2日目の諸連絡・終了	

7月31日(火)

第2日目

午前は、開発教育を実践するための具体的な手法を学び、午後は、海外での研修をより実りの多いものとするため、渡航の準備や現地での状況把握を行うことを目的として実施。

8:45~	集合	オリエンテーションルーム
9:00~10:20 (1(1+ト1))	開発教育アクティビティの紹介 ・異文化やコミュニケーションについて扱ったアクティビティを実践しながら紹介する。 講師：湯本浩之氏 (開発教育協議会) 小島康二郎氏 (開発教育協議会) 第一班 パート1 【バーム油】 【バーンガ】 第二班 パート2 【バーンガ】 【バーム油】	セミナールームC, D, E オリエンテーションルーム
10:30~11:50 (1(1+ト2))		
11:50~	休憩 (10分)	
12:00~	開発教育概論 開発教育の考え方、総合的な学習への導入などについての動きを整理する。 ・実践報告書 (教材集) 作成にあたってのポイント 講師：湯本浩之氏 (開発教育協議会)	オリエンテーションルーム
12:40~	昼食	食堂または各自
13:40~	教材集の作成について 担当：国内連携促進課 実川幸司/鈴木幸枝 ・研修報告書・実践報告書 (教材集) の作成と提出に関する説明	オリエンテーションルーム
14:15~	休憩 (15分)	
14:30~	コース別打ち合わせ JICA同行者を中心に、現地での視察の目的、ねらい、訪問先での対応等についての確認。	ザンビア：国内事業部 薬師弘幸 東京国際センター 大杉健一 セミナールーム11 ラオス：大阪国際センター 山花悦子 中国国際センター 佐々木美穂 セミナールームE ホンジュラス：国内事業部 鈴木幸枝 セミナールームD ベトナム：国内事業部 和泉隆則 国内事業部 実川幸司 セミナールーム12 ヨルダン：中部国際センター 久野貴一郎 中部国際センター 野口秋乃 セミナールームC マラウイ：九州国際センター 江崎千絵 セミナールームB
15:45~	渡航手続等説明 各旅行代理店より	
16:30~	休憩、荷物整理等	
18:00~20:00	結団式	多目的ホール

ザンビア Zambia

月日	曜日	時間	行 程	宿泊地
7月30日	月		国内事前研修 (JICA東京国際研修センター)	
7月31日	火		国内事前研修 (JICA東京国際研修センター)	
8月 1日	水		成田空港出発	
8月 2日	木	13:05 15:20 15:30 16:00 16:30 17:30	ルサカ着 (SA064) ホテル発 JICA事務所訪問 医療関係ブリーフィング 日程説明 事務所発	ルサカ (Pamodzi Hotel)
8月 3日	金	9:15 9:30 10:00 10:30 11:00 16:00 18:45 19:00	ホテル発 日本大使館表敬 日本大使館発 Aグループ: パークランズHigh school (隊員配属先) Bグループ: カフエSec. School (隊員配属先) マンダヒル ホテル発 懇親会 (専門家、協力隊員)	ルサカ (Pamodzi Hotel)
8月 4日	土	9:00 11:00 17:00	ホテル発 チルントゥ (開発福祉支援事業 (HIV啓蒙活動) 現場) ホテル着	ルサカ (Pamodzi Hotel)
8月 5日	日		市内見学	ルサカ (Pamodzi Hotel)
8月 6日	月	9:00 13:00	アグリカルチャーショー見学 シティマーケット見学	ルサカ (Pamodzi Hotel)
8月 7日	火	8:30 9:00 9:00 12:00 13:30 14:00 16:00	ホテル発 Aグループ: PHC (Primary Health Care) プロジェクト (プロ技) Bグループ: カシシ孤児院 (隊員配属先) 昼食 ホテル発 カトゥバ (隊員配属先) カトゥバ発	ルサカ (Pamodzi Hotel)
8月 8日	水	8:30 9:00 10:30 12:30 14:00 16:00	ホテル発 職業訓練校 (シニア海外ボランティア配属先) タカマド小学校 (隊員配属先) 昼食 ムナリSec.School (障害者を含めた学校) 事務所報告会	ルサカ (Pamodzi Hotel)
8月 9日	木	11:30 14:05	ホテル発 ルサカ発 (SA065)	

氏名	所属学校 / 担当教科	氏名	所属学校 / 担当教科
うえむら いくよ 上村 育代	旭川市立嵐山中学校 英語	しばさき みつえ 柴崎 光江	新宿区立西戸山中学校 英語
こむろ ひとし 小室 彰人	新得町立新得中学校 社会	うちやま えりこ 内山えり子	埼玉県蕨市立第二中学校 国語
おおた ひろみ 太田 裕美	蓬田村立蓬田中学校 国語	こたけ たけし 小竹 毅	下田村立下田中学校 社会
おばた ゆきひろ 小畑 幸彦	高清水町立高清水中学校 社会	うら かつみ 浦 和美	台東区立駒形中学校 英語
さとう ひであき 佐藤 英明	男鹿市立男鹿南中学校 理科	こじま まさよし 小島 正好	安中市立第一中学校 美術
かんばんし さびえ 上林 早苗	米沢市立第二中学校 社会	やまぐち れい子 山口 玲子	上野原町立平和中学校 理科
こばやし みゆき 小針美由紀	郡山市立郡山第七中学校 社会科	たけべ ともや 武部 公也	茅ヶ崎市立円蔵中学校 社会
てらしま せいいち 寺島 清一	つくば市立谷田部東中学校 英語		

●同行者 大杉健一(東京国際研修センター研修特別業務室)
薬師弘幸(JICA国内事業部管理課)

本当の豊かさ・幸せとは何なのかということを強く考えさせられた。また、たくましく生きる人々の姿を見て、感銘を受け、生きるパワーをいただいた気がした。

嵐山中 英語 上村育代

協力隊員の活動現場を視察して、十分に物がないうちで、相違と工夫、熱意により任務を遂行している姿に感動を覚えた。

新得中 社会 小室彰人

PHC(ルサカプライマリーヘルスケア)プロジェクトにかかわる現場を訪問して、ただ資金や技術を提供するだけではなく、住民たちに自信と誇りを持たせることで住民の主體的活動につながるということを知った。

蓬田中 国語 太田祐美

協力隊員の足踏みポンプ製造普及運動・模範トイレの設置・七輪の普及活動現場をみて、生活の基本的なところからはじめていかなければならない現実を直視したときJICAの仕事の重要性を感じた。

高清水中 社会 小畑幸彦

ザンビアでも障害者教育が行われていることに驚いた。しかし環境整備が追いついておらず、日本の学校施設設備の充実度を再確認した。

男鹿南中 理科 佐藤英明

カシシ孤児院でエイズのため2歳で5キロしかない子供を見たとき、また、HIVに感染している子供が4分の1もいると知ったとき、ショックだった。

第二中 社会 上林早苗

アフリカというと動物というイメージがあるが、ザンビアの場合、捕獲して食べてしまったため動物園以外にはいないとの話。生徒にぜひ話してあげようと思う。

郡山第七中 社会 小針美由紀





支援の構想を立てる際に現地のよさを生かし、さらに将来的に自立できる方向で行う援助が重要であることがわかった。ザンビア人スタッフの話し方から私たちには〇〇ができるんだという誇りが伝わってくる。

谷田部東中 英語 寺島清一

生徒たちの飾り気のなさや勉強が好きという言葉が印象的だった。人々の暮らしぶりや何十年前の日本と共通するものを垣間見た感じがした。

西戸山中 英語 柴崎光江

活字で知っていたJICAの開発協力が具体的な匂いと形と音をもって実感できた。援助が必要な国が、自分たちの力で国を興すのだという自信と誇りがもてるような援助のあり方を更に進めていく必要があると思う。

第二中 国語 内山えり子



子供たちの表情は我々に対するもの珍しさも手伝って好奇心に満ち、明るく元気だった。経済的に恵まれていてもいなくても、たくましく生きる力強さを感じた。

下田中 社会 小竹 毅

孤児院を見学して、どんなに貧しくとも親の愛が大切とは頭ではわかっているがこのような恵まれた環境を見てしまうと、果たしてどちらが幸せなのかと考えさせられました。

駒形中 英語 浦 和美

貧しいが協力し合って慎ましやかに暮らす村民の様子が印象的だった。フリーマーケットでは、にぎやかでエネルギッシュな生活の場面を見て、これがこれから成長する国の活力なのかもしれないという感じがした。

第一中 美術 小島正好

地元の人と歩きながら話をしたり、劇の様子、実際にセックスワーカーの女性と話ができたのも良かった。

平和中 理科 山口玲子

手作りのボールを裸足で蹴り合う子ども達の明るい笑顔と今後予想される厳しい将来がオーバーラップして、複雑な思いがした。

円蔵中 社会 武部公也

コース別日程／参加者別氏名

ラオス Republic

月日	曜日	時間	内 容	宿泊地
7月30日	月		国内事前研修（JICA東京国際研修センター）	
7月31日	火		国内事前研修（JICA東京国際研修センター）	
8月 1日	水		成田空港出発	
8月 2日	木	9:30 10:00 10:30 11:30 12:30 15:30 16:30 18:30	ヴィエンチャン到着 ホテル着 JICA事務所訪問 日本大使館表敬 事業概要説明 教育省表敬（官房長） ホテル着 教育省との意見交換	ヴィエンチャン （ノボテル）
8月 3日	金	8:30 8:50 10:45 12:00 14:30 16:00 19:30 21:30	ホテル発 開発福祉支援事業見学（女性自立向上） ナムグムダム訪問（リハビリ無償及び専門家派遣） 昼食 サイタニー病院訪問（斉藤JOCV） ボンミー高等学校見学 夕食（造林センター） ホテル着	バンビエン （ナムソンホテル）
8月 4日	土	8:30 午前 午後 18:30	ホテル発 森林保全復旧計画（FORCAP）サイト見学（プロ技） ヴィエンチャン県製薬農村開発計画（VARDP）サイト見学（プロ技） ホテル着	ヴィエンチャン （ノボテル）
8月 5日	日	9:00 10:20 13:30 午後 17:00	ホテル発 QV635（ATR）ヴィエンチャン→ルアンプラバン（世界遺産指定都市） 王立博物館（川島JOCV） 市内観光 ホテル着	ルアンプラバン （プーシーホテル）
8月 6日	月	8:30 9:00 11:25 13:00 14:00 14:45 18:30	ホテル発 農業学校訪問（西JOCV） QV102（ATR）ルアンプラバン→ヴィエンチャン ホテル着 ホテル発 養蚕研究センター（山川SOV） 懇親会	ヴィエンチャン （ノボテル）
8月 7日	火	9:00 9:30 10:45 12:00 13:30 15:00 17:00 19:00	ホテル発 ラオス青年同盟表敬 タットルアン寺院、アヌサワリー見学 昼食 カイソン博物館見学 大統領官邸表敬 JICA事務所主催歓迎会 ホテル着	ヴィエンチャン （ノボテル）
8月 8日	水	8:10 8:30 9:45 10:30 12:15 14:00 16:30	ホテル発 国立リハビリテーションセンター訪問（赤塚SOV、前田JOCV） 国立大学工学部訪問（日タイ協力） 新セタティラート病院訪問（プロ技） 昼食 空港及び管制塔見学（無償資金協力及び専門家派遣） ホテル着	ヴィエンチャン （ノボテル）
8月 9日	火	8:00 8:30 9:45 11:30 15:30 16:00 17:00 18:30 21:00	ホテル発 友好構見学 ブッタパーク見学 ホテル着 ホテル発 発表会及び修了証授与（日本ラオスセンター） ホテル着 送別会 ホテル着	ヴィエンチャン （ノボテル）
8月10日	木	9:00 10:30	ホテル発 ヴィエンチャン発	

氏名	所属学校 / 担当教科	氏名	所属学校 / 担当教科
なかはし 良子 なかの 喜久	押水町立押水中学校 保健体育	なかの 喜久 くろだ 紀子	生駒市立生駒中学校 社会
ふじた 昌美	宮田村立宮田中学校 英語	くろだ 紀子	三原町立三原中学校 社会
おだきり 由美	清水市立第二中学校 英語	うちもと 年昭	河内長野市立千代田中学校 美術
しろやま 真澄	豊田市立豊南中学校 美術	うけな 誠司	河内長野市立加賀田中学校 英語
なかがわ 裕行	甚目寺町立甚目寺中学校 英語	わかばやし 紀子	京都市立松尾中学校 英語
きたがわ 直子	篠山市立丹南中学校 英語		

●同行者 山花 悦子(大阪国際センター 総務課)
佐々木美穂(中国国際センター 総務課)



「日本では助かることがラオスでは助からないことが一番悲しいです」とおっしゃっていた看護婦の方の思いがあってこそ協力隊としての活動が行っていきけるのだと思いました。

押水中 保健体育 中橋良子

現地の人々は協力隊や日本人に対してどういう気持ちで接しているのか、技術や施設など無償で提供されていることに何を感じているのか、人々の本当の心を聞くのが通訳してもらうのにもどうしたら良いか困った。

宮田中 英語 藤田昌美

ラオス5県の小・中学生のスタディーツアーと懇親会から合流して、ヴィエンチャンまで3日間かかった子がいると聞いて驚いた。丸一日歩いたようだ。

第二中 英語 小田切由美

タイとの経済状況、社会基礎の差が、友好橋の往復で垣間見ることができた。ブッダ・パークで出会ったラオスの若い僧の考え深そうな哲学的なひとみが印象的でした。

豊南中 美術 白山真澄

ラオスの生徒達の発表を聞きながら、彼らと日本の中学生たちが、何年か後に一緒に語り合うことが可能かどうか、それが帰国後のわれわれの授業にかかっていると感じた。

甚目寺中 英語 中川裕行

ラオスに来て、驚いたことの一つが多く残っている緑の美しさだった。また、農村開発で関わっているモン族のナムニャム村では、子どもたちの愛らしい笑顔に会えてよかった。

丹南中 英語 喜多川直子

歓迎会の儀式やラオラオで元気をもらった。ただ、時間の関係でラオダンスができなくて残念。このような住民との交流は心が躍るものである。

生駒中 社会 中野喜久

医療現場における設備等の不十分な状態においても、悠揚としてその現実に即して日々活動している園太いとも言える協力隊員の自然体の姿を、生き方に迷う中学生につきつけてやりたい思いがした。

三原中 社会 黒田紀子

文化の違う人たちと一緒に活動することは決して押し付けではうまくいかないし、互いに時間をかけて理解し合わないといけないということを繰り返し聞き、それが印象に残っている。 千代田中 美術 内本年昭

国を開発していこうと思うと、いろいろな分野で必要な知識や技術がいる。その元になるのが教育だと思うのだが、遠距離のためとか、家の手伝いのために不十分になってしまっていることが、やはり一番の問題ではないか、と思った。 松尾中 英語 若林紀公子

一生、ピエンチャンにすら来られない生徒もいると聞きびっくり。歌、ダンスに秀でることも大切で、5教科中心の日本の教育に少し疑問を感じた。子どもたちのきらきらした瞳が忘れられない。

加賀田中 英語 浮穴誠司



コース別日程 / 旅行日程表

ホンジュラス Honduras

月日	曜日	時間	行程	宿泊地
7月29日	月		国内事前研修(JICA東京国際研修センター)	
7月30日	火		国内事前研修(JICA東京国際研修センター)	
7月31日	水		成田空港出発	
8月 1日	木	11:30 12:30 14:30 15:30 16:00 17:00 18:30	テグシガルバ着 (CO1241) ホテルチェックイン JICA事務所表敬 日本大使館表敬 教育分野ブリーフィング(日本大使館) 日程説明、オリエンテーション(ホンデュラス事務所) JICA事務所主催懇親会	テグシガルバ (Hotel Copantl)
8月 2日	金	09:00 14:00 15:30 17:00	教育現場視察・サバナグランデ(首都から車で約1時間) 文部省表敬 看護教育研究センター視察 無償資金協力による橋梁建設現場視察	テグシガルバ (Hotel Copantl)
8月 3日	土	09:00 10:00 18:00	日本語補習校視察 移動(→コバン・ルイナス) コバン・ルイナス着	コバンルイナス (Acropolis Maya) (Los Jaguares)
8月 4日	日	08:30 11:30 12:00	コバン遺跡視察 ホテルチェックアウト 昼食	ホームステイ
2グループに分かれて行動				
(グループ1)			(グループ2)	
		13:00 17:00	移動(→ヌエバオコテベケ) ヌエバオコテベケ着 ホームステイ先へ移動	13:00 16:00 16:30 17:00
				移動(→サンタバルバラ) サンタバルバラ着、日程確認、打ち合わせ ホームステイ上の注意(オリエンテーション) ホームステイ先へ移動
8月 5日	月	08:30 09:30 11:00 12:00 15:00 16:00	My Little Red House(私立幼稚園)視察 オコテベケ県教育委員会(旧庁舎)表敬 アグア・カリエンテ国境視察 ノルマル中学校教師との意見交換会(昼食) シアヌバ村の小学校視察(日本の草の根無償。建設中。) オコテベケ県教育委員会(新庁舎)表敬	07:30 08:00 09:00 14:00
				サンタ・バルバラ県教育委員会表敬 ラ・インデペンデンシア中高等学校視察 マヌエル・デ・ヘスス・スピラーナ小学校授業参観 日本紹介模擬授業 レナン・バイテ小学校視察
8月 6日	火	08:30 08:30 09:20 09:30 11:00 15:00	各家庭を出発 意見交換会実施校(フルマル中高等学校)へ移動 意見交換会、日本紹介授業打ち合わせ 日本紹介授業、生徒との意見交換会 写真等による日本・学校紹介 生徒との交流 移動(→サンベドロスーラ) サンベドロスーラ着	07:00 13:00 17:30
				サンタ・バルバラ市内視察(郵便局、市場、中央公園等) 移動(→テラ) サンベドロスーラ着(ヌエバオコテベケグループと合流)
8月 7日	水	08:30 13:00 15:00	移動(→テグシガルバ) ADRA(La Joya)の現場視察(開発福祉支援) ホテル着 テグシガルバ市内見学(エル・ピカッチョの丘、ショッピングセンター、郵便局等)	テグシガルバ (Hotel Copantl)
8月 8日	木	09:00 10:30 16:00 18:30	PREPACE(シニア海外ボランティア活動現場)視察(障害児教育センター) 市内書店での教科書購入 JICA事務所研修報告会 JICA事務所主催懇親会	テグシガルバ (Hotel Copantl)
8月 9日	金	09:30 12:20	ホテルチェックアウト後空港へ テグシガルバ発(CO1242)	

氏名	所属学校 / 担当教科	氏名	所属学校 / 担当教科
山尾 一郎 <small>やまお いちろう</small>	大東町立海潮中学校 社会	岩本 辰明 <small>いわもと たつあき</small>	田川市立金川中学校 社会
宮武加代子 <small>みやたけ かよこ</small>	広島市立二葉中学校 国語	山村 良一 <small>やまむら りょういち</small>	大分市立大東中学校 社会
角田 正和 <small>すみだ まさかず</small>	早島町立早島中学校 社会	野上田香代子 <small>ののみだ かよこ</small>	市来町立市来中学校 家庭科、特殊教育
中澤 久寿 <small>なかざわ ひさのぶ</small>	伊野町立伊野南中学校 数学	深水 教子 <small>ふかみず きょうこ</small>	平戸市立中部中学校 美術、家庭科
秋田 真理 <small>あきた まり</small>	市場町立市場中学校 社会	中村 圭介 <small>なかむら けいすけ</small>	大分市立植田南中学校 英語
板倉美穂子 <small>いたくら みほこ</small>	長与町立長与第二中学校 英語	上原 邦夫 <small>うえはら くにお</small>	石垣市立石垣中学校 社会

● 同行者 鈴木幸枝 (JICA国内事業部国内連携促進課)

ハリケーンミッチ被災者の移住地での活動における昼間の講習会に参加している人たちの表情から、真剣さが伝わってきた。本当に必要とされている支援が何なのかを見極め、どのような形で実施するのが重要であることがわかった。

海潮中学校 社会科 山尾一郎

一人一人の隊員の方々が、一生懸命、尽力している姿には感動した。日々の活動の中では、労が必ずしも100%報われるとは限らないであろうし、様々な矛盾も感じることもある中で、しっかりと取り組んでいることに敬意を表したい。

二葉中学校 国語科 宮武加代子

ホストファミリーとの対話の中で、日本の発展や教育制度に関心を持ち、システムの面での協力や教育制度の面での援助を期待するという話を聞いて「知的・人的支援による援助」というものが求められていることを感じた。

早島中学校 社会科 角田正和

統計的な数字やグラフからは、なかなか見え難かった各国からの「人材」と「資金」の流れも現実味を帯びてきました。

伊野南中学校 数学科 中澤久寿

ホームステイを通して、どこの国の人でも自分と同じように家族を大切に、それぞれの営みを行って

生活をしているのだなあと実感することができました。貴重な体験でした。

市場中学校 社会 秋田真理

ホンジュラスの教育事情について、教員の待遇や教師の質、子ども達の就学に関する様々な問題を抱えていることを理解できた。教育問題は単に学校教育だけでなく、家庭問題や社会問題など様々な要因が関与していることがわかった。

長与第二中学校 英語 板倉美穂子

住民の一人として生活を共にしながら活躍されている協力隊員の姿を見て同じ日本人として誇りを覚えることができました。

金川中学校 社会科 岩本辰明



研修を終えた私にとって最も大きな課題は「これから自分が取組む開発教育には何が求められるのだろう」ということです。

大東中学校 社会科 山村良一
地域によって文化や生活習慣にほとんど差の無い日本に住んでいると、異なるものを認め、受け入れる感性が鈍ってしまうような気がする。小・中・高校時代というこの自己形成の時期に異文化に触れ関心を持つことは意義のあることと思う。

市来中学校 家庭科・特殊教育 野上田香代子

首都と他県と広い地域を研修できてよかった。都市部も田舎の学校も子ども達が生き生きして、学ぶ姿勢が真剣だった。

中部中学校 家庭科・美術 深水教子

日程的にはハードな過密スケジュールであり、最初は不安と戸惑いを覚えたが、だんだんと日にちが経つにしたがって、疲労を上回る感動が心身を包み、動かし始めたように思えた。

穂田南中学校 英語 中村圭介

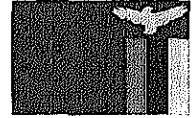
こんな山奥にも学校があるのかと思われる場所で何と6学年を一人で教える驚異的な複式授業。規律のある態度と互いの教え合い、目の輝きに感動！しかし劣悪な教育条件にやるせない思いと誰に言うともない怒りがこみ上げる。

石垣中学校 社会科 上原邦夫



国別概要

ザンビア (Republic of Zambia)



1. 概要

面積	752.61千km ² (日本の約2倍)
人口	1,010万人 (2000年:世銀)、人口増加率2.1% (1999~2000年:世銀)
首都	ルサカ (人口145万人)
人種	73部族 (トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系)
言語	英語 (公用語)、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語
宗教	多くはキリスト教、その他伝統宗教

2. 経済 (単位:米ドル)

主要産業	(農)とうもろこし、タバコ、落花生、綿花 (鉱)銅、コバルト、亜鉛、鉛、石炭 (工)食品加工、繊維、建築資材、肥料
GDP (実績)	3,000百万 (2000年:世銀)
一人当りGDP	300 (2000年:世銀)
経済成長率	2.0% (1999年:ザンビア政府統計)
物価上昇率	20.6% (1999年:ザンビア政府統計)
失業率	不明 雇用は就労人口の30%をカバーしているにすぎないと言われている。(IMF資料)
貿易額	(1) 輸出 753百万 (2) 輸入 939百万
主要貿易品	(1) 輸出 銅、コバルト (2) 輸入 石油、肥料、電力等
貿易相手国	(1) 輸出 サウディアラビア (12.5%)、日本 (10.2%)、英 (7.7%)、タイ (6.7%) (2) 輸入 南ア (55.5%)、ジンバブエ (8.8%)、英 (5.9%)、日本 (2.7%)
通貨	クワチャ
為替レート	1ドル=4,410ZK (2002年) 6月26日現在
経済関係	(1) 我が国の対ザンビア貿易 イ) 貿易額 (2000年:H.12通商白書) 輸出18億円 輸入101億円 ロ) 主要品目 輸出:自動車・貨物自動車・バイク等 (71.9%)、無線用通信機器 (4.6%) 輸入:銅地金 (58.1%)、コバルト (37.9%)、 ニッケル (3.9%)、タバコ (0.5%) (2) 我が国からの直接投資 18件 37,769百万円 (1997年度までの累計)

3. 経済協力

我が国の援助実績	(1) 有償資金協力 965.43 (2000年実績なし) (2) 無償資金協力 814.11 (2000年 38.69) (3) 技術協力実績 328.16 (2000年 15.01)
DAC内主要援助国	(1) 独 (50.0) (2) 日 (33.6) (3) 米 (33.4) (4) ノルウェー (31.8) (5) オランダ (22.5)

ラオス (Lao People's Democratic Republic)

1. 概要

面積	24万km ²
人口	521.8万人 (2000年)
首都	ヴィエンチャン
人種	低地ラオ族 (60%)、その他約60数種族
言語	ラオス語
宗教	仏教

2. 経済 (単位:米ドル)

主要産業	農業、林業および水力発電
GDP (実績)	1,424百万ドル (2000年)
一人当りGDP	273ドル (2000年)
経済成長率	5.70%
物価上昇率	(ヴィエンチャン) 27.1% (2000年)
失業率	不明
貿易額	(1) 輸出 393百万ドル (2) 輸入 591百万ドル
主要貿易品	(1) 輸出 電力、木材、縫製品、コーヒー (2) 輸入 燃料、日用品、繊維原料
貿易相手国	タイ、ヴェトナム、中国、日本
通貨	キープ (Kip)
為替レート	1ドル=9,500キープ (2002年1月現在)
経済関係	(1) 対日貿易 (2000年) イ) 貿易額 輸出:2,300百万円 輸入:1,289百万円 ロ) 品目 輸出:木材 輸入:機械、自動車、鉄鋼製品 (2) 我が国からの直接投資 木材加工、トタン板製造、オートバイ組立工場等

3. 経済協力

我が国の援助実績	(1) 有償資金協力 91億円 (2) 無償資金協力 約742.50億円 (1999年度約80.13億円) (3) 技術協力実績 約212.44億円 (199,931.56億円)
DAC内主要援助国	(1) 日本 (2) 独 (3) スウェーデン (4) 仏 (5) 豪州

ホンジュラス (Republic of Honduras)



1. 概要

面積	112,492km ² (日本の約3分の1弱)
人口	607万人 (2001年国勢調査)
首都	テグシガルバ
人種	混血91%、先住民6%、アフリカ系2%、スペイン系1%
言語	スペイン語
宗教	伝統的にカトリック (信教の自由を憲法上保証)

主要産業	農林牧畜業 (バナナ、コーヒー、水産、肉)
GDP (実績)	5,868.3百万ドル (2000年中銀)
一人当りGDP	889ドル (2000年中銀)
経済成長率	2.9% (98年) -1.9% (99年) 4.8% (2000年) (中銀)
物価上昇率	15.7% (98年) 10.9% (99年) 10.1% (2000年) (中銀)
失業率	3.74% (98年) N.A (00年) 4.3% (01年) (統計局)
貿易額	(1) 輸出 1,657百万 (98年) 1,120百万 (99年) 1,377.2百万 (2000年) (中銀) (2) 輸入 2,338百万 (98年) 2,462百万 (99年) 2,697.6百万 (2000年) (中銀)
主要貿易品	(1) 輸出 コーヒー、エビ、バナナ (2) 輸入 原料別製品、燃料・潤滑油、機械・輸送機器、化学製品
貿易相手国	(1) 輸出 米国 (38.2%)、エルサルバドル (8.8%)、ドイツ (7.6%)、日本 (4.0%) (2) 輸入 米国 (49.2%)、グアテマラ (8.7%)、エルサルバドル (7.0%)、日本 (4.9%)
通貨	レンピーラ (L)
為替レート	1ドル=15.89レンピーラ (2001年：年間平均)
経済関係	(1) 対日貿易 (中銀) イ) 貿易額 (単位：百万ドル) 輸出：66.7 (98年) 55.6 (99年) 56.1 (00年) 輸入：117.7 (98年) 107.2 (99年) 133.4 (00年) ロ) 主要品目 輸出：コーヒー、木材 輸入：乗用車、船舶、通信機器 (2) 我が国からの直接投資 7,675百万円 (21件)

我が国の援助実績	(1) 有償資金協力 434.29 (99年度までENベース) (2) 無償資金協力 533.22 (99年度までENベース) (3) 技術協力実績 257.29 (99年度までENベース)
DAC内主要援助国	(1) 米国 (2) スペイン (3) 日本

国際協力推進協会(国際協力推進協会)

開発教育や開発問題について、もっと詳しく知りたい方々のために、開発教育を実施している団体や、役立ちそうな教材／素材をリストアップしてみました。国際協力事業団(JICA)刊行のものは、各支部、センターにお問い合わせください。

開発教育関係団体 ①セミナー開催 ②講師の派遣 ③資料の収集・開発・提供 ④スタディーツアー ⑤機関誌の刊行 ⑥その他

(特活)国際協力NGOセンター (JANIC)

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-9-1
斉藤ビル5階
TEL 03 (3294) 5370
FAX 03 (3294) 5398
URL
<http://www.janic.org/>
①～③、⑤、
⑥NGO市民情報センター

(特活)名古屋NGOセンター

〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南1-20-11
NPOプラザ3階北
TEL 052 (588) 3680
FAX 052 (588) 3680
URL <http://www.sf21npo.gr.jp/~ngo/>
①～⑤

関西NGO協議会

〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町2-30
TEL 06 (6377) 5144
FAX 06 (6377) 5148
URL <http://www.sun-inet.or.jp/~knc>
①～③、⑤、
⑥関西NGO大学

開発教育協議会

〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18-73
TEL 03 (3207) 8085
FAX 03 (3207) 8486
URL <http://www.decj.on.arena.ne.jp>
①～③、⑤、
⑥開発教育情報センター

(特活)国際理解教育センター (ERIC)

〒114-0013
東京都北区東田端1-14-1
岩瀬ビル
TEL 03 (3800) 9415
FAX 03 (3800) 9414
URL <http://www.try-net.or.jp/~eric-net/>
①～⑤、
⑥施設利用、カリキュラム開発など

**シャプラニール=市民
による海外協力の会**

〒169-8611
東京都新宿区西早稲田2-3-1
早稲田奉仕園内
TEL 03 (3202) 7863
FAX 03 (3202) 4593
URL <http://www.shaplaneer.org/>
①～⑤、⑥作文・小論文コンクール、
 Bangladesh 製品輸入販売

**(社) シャンティ
国際ボランティア会
(SVA)**

〒160-0015
東京都新宿区大塚町31
慈母会館2階
TEL 03 (5360) 1233
FAX 03 (5360) 1220
URL <http://www.sva.or.jp>
①～⑤、⑥図書館

**(財) 国際協力推進協会
(APIC)**

〒106-0047
東京都港区南麻布5-2-32
第32興和ビル
TEL 03 (5423) 0561
FAX 03 (5423) 0564
URL <http://www.apic.or.jp/plaza/>
①～③、
⑥国際協力プラザ

(社) 協力隊を育てる会

〒160-0013
東京都新宿区麩岳15
日本青年館内
TEL 03 (3402) 2153
FAX 03 (3402) 3263
①～③、⑤、
⑥小さなハートプロジェクト

(社) 青年海外協力協会

〒150-0012
東京都渋谷区広尾4-2-24
広尾訓練研修センター内
TEL 03 (3406) 9151
FAX 03 (3406) 9160
URL <http://www.joca.or.jp>
①～③、⑤

**(財) 日本ユニセフ協会
(ユニセフ日本委員会)**

〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12
ユニセフハウス
TEL 03 (5789) 2013
FAX 03 (5789) 2033
URL <http://www.unicef.or.jp>
①～③、
⑥図書館

**(社) 日本ユネスコ協会連盟
(日ユ協連)**

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階
TEL 03 (5424) 1121
FAX 03 (5424) 1126
URL <http://www.unesco.or.jp>
①～⑤

桜井・法貴グローバル教育研究所

〒181-0003
東京都三鷹市北野4-2-26-104
TEL・FAX 03 (5313) 1995
①～⑤

開発教育教材

開発教育ダイレクター'97

開発教育ダイレクター'97



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥1,500 発行：1997年

日本の開発教育を進める団体の活動を紹介した冊子。資料集や学習会、スタディーツアー、フェアトレードなど9つのアプローチを紹介。

開発教育ブックレットシリーズ1
「開発教育」ってなあに？



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥500 発行：1998年

開発教育についての取り組みをわかりやすく紹介した入門書的な小冊子。

開発教育ブックレットシリーズ2
わくわく開発教育
～参加型学習へのヒント～



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥800 発行：1999年

開発教育の講座や研修会などでよく用いられる参加型学習の手法を紹介。

開発教育ブックレットシリーズ3
いきいき開発教育
～総合学習に向けたカリキュラムと教材～



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥800 発行：2000年

文化、子ども、環境、貿易、貧困、国際協力、識字、ジェンダーなど開発教育の12のテーマについてカリキュラムと教材を紹介。

開発教育ブックレットシリーズ4
つながれ開発教育
～学校と地域のパートナーシップ事例集～



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥1,000 発行：2001年

学校と地域が様々な形でパートナーシップをとりながら、地球的視野に立つ教育（開発教育や国際理解教育）に取り組んでいる国内外14の事例を紹介しつつ、パートナーシップのあり方や今後の課題を明らかにしている。

開発教育ブックレットシリーズ5
開発教育キーワード51



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥1,500 発行：2002年

開発問題・開発教育・国際理解に関する基本用語を明確にし、それぞれの関連性を整理した用語集

新しい開発教育の
すすめ方



編集：開発教育推進セミナー編
発行・問い合わせ先：古今書院
TEL 03 (3291) 2757
定価：¥2,400+税 発行：1999年

テーマごとに模擬授業を紹介した、教師や社会教育現場で新しい開発教育に取り組む指導者のための参考資料。

新しい開発教育の
すすめ方Ⅱ「難民」
～未来を感じる総合学習～



編集：開発教育研究会編・著
問い合わせ先：古今書院
TEL 03 (3291) 2757
定価：¥1,800+税 発行：2000年

「総合学習」の中で、「難民」を切り口にして、人権・平和・開発・共生・参加・未来等について、気づき、共感し、考え、そして態度を形成したり行動を起こしていく手助けとなることを目的に作成されている。

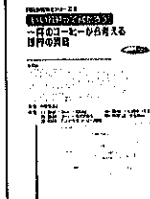
開発教育のための視聴覚
教材リソースブック



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥800 発行：1997年

開発教育のビデオやスライドなどの視聴覚教材を紹介。

開発教育教材シリーズ2
いい貿易って何だろう
～一杯のコーヒーから
える世界の貿易～



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥600 発行：1999年

身近なコーヒーを題材として生産国の現状と世界の流通の仕組みを理解することを目的とした、そのまま授業に生かせる教材。

開発教育教材シリーズ3
たずねてみよう！
カレーの世界
～スパイスと食文化の多様性～



問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥600 発行：2000年

身近なカレーを素材として、スパイスの種類・効用の多様性を知り、アジアの様々なカレーから見える各地域の食文化の多様性に気づくことをねらいとしている。

開発教育教材シリーズ4
新・貿易ゲーム
～経済のグローバル化を
考える～



有聲
CD
CD

問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03(3207)8085
定価：¥800 発行：2001年

「貿易」を中心に、世界経済の動きを疑似体験することによって、そこに存在するさまざまな問題について学び、その解決の道について考えることを目的としたシミュレーションゲーム

開発教育教材シリーズ5
パーム油のはなし
～「地球にやさしい」って
なんだろう？～



有聲
CD
CD

問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03(3207)8085
定価：¥1,800 発行：2002年

対象：中学生以上
ポテトチップス、チョコレート、カップラーメン、アイスクリームなどの原料になっているパーム油を通して、生産国で起こっている問題を知り、その問題の構造を理解し、さらに私たちの消費社会とのつながりを理解し、何ができるかを考えることをねらいとしている。

開発教育実践の手引き

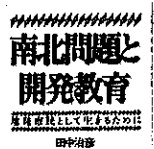


有聲
CD
CD

問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(5423)0561
定価：¥1,019 発行：1993年

開発教育の実践例や海外での開発教育の事情を紹介。

南北問題と開発教育



有聲
CD
CD

問い合わせ先：田中治彦 著 亜紀書房 発行
TEL 03(5280)0261
定価：¥1,845+税 発行：1994年

開発教育の中心的課題である南北問題と国際協力、そして開発教育の理論と実践について解説。実践教材や実践事例も掲載されている。

ユニセフの開発のための
教育
地球市民を育てるための
実践ガイドブック

有聲
CD
CD

問い合わせ先：(財)日本ユニセフ協会
TEL 03(3355)3224
定価：¥100 発行：1998年

参加型の体験学習の例を分かりやすく紹介したガイドブック

ユニセフによる地球学習
の手引き

～新しい視点に立った国際理解教育(小学校、中学校)～

有聲
CD
CD

問い合わせ先：教育出版
TEL 03(3238)6965
定価：¥2,200+税 発行：1997年
国際児童基金による「ユニセフによる地球学習の手引き」に、日本の小・中学校での実践事例を加えたもの。

フードファーストカリキュラム
～食べ物を通して世界を
見つめよう～

有聲
CD
CD

問い合わせ先：ERIC
TEL 03(3800)9415
定価：¥2,625 発行：1993年

身の回りの「食」を通して世界とのつながりを説明した本

国際理解教育

有聲
CD
CD



問い合わせ先：清水書院
TEL 03(3260)5261
定価：¥1,800+税 発行：1999年

「総合学習の時間」導入に向けて異文化理解、国際協力、自然環境などのテーマを現場の教師が取り組んだ実践事例集。

国際理解教育
地球市民を育てる授業と構想

有聲
CD
CD



問い合わせ先：国土社
TEL 03(3943)3721
定価：¥2,200+税 発行：1992年

地球環境や貿易、マイノリティなどのテーマから授業を組み立てられる題材を提供。

テキスト国際理解



有聲
CD
CD

問い合わせ先：国土社
TEL 03(3943)3721
定価：¥2,000+税 発行：1997年

基本的な概念、理論的な枠組、アプローチの仕方を提示し、実践に役立つ具体例を盛り込み、教材として利用できるようにまとめたもの。

国際理解
重要用語300の基礎知識

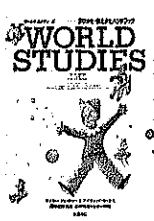


有聲
CD
CD

問い合わせ先：明治図書出版
TEL 03(3946)3151
定価：¥2,660+税 発行：2000年

国際理解教育を広義にとらえ、できるだけ広い分野から項目を選び、解説を加えた用語集。読みやすく1項目1ページとし関連の深い項目を前後に配置するなど工夫をしている。

ワールドスタディーズ
～学び方・教え方ハンド
ブック～



有聲
CD
CD

問い合わせ先：ERIC
TEL 03(3800)9415
定価：¥2,500+税 発行：1991年

国際理解教育のさまざまな事例を説明した本。

地球市民教育のすすめかた
ワールド・スタディーズ・
ワークブック



問い合わせ先：明石書店
TEL 03-5818-1171
定価：¥2,600+税 発行：1997年
参加型学習の実践事例集。「森林」「アポリジニー」「ジェンダー」などテーマごとにアクティビティを紹介。参考文献リストも収録されている。

あなたもできる
国際ボランティア

問い合わせ先：ジャパンタイムズ
定価：¥1,800+税 発行：1996年
ボランティア体験談、団体紹介、講座案内など、国際ボランティアへのさまざまな関わり方を紹介。国際ボランティアに興味のある人のための入門マニュアル。

開発教育のすすめ 南北
共生時代の国際理解教育

問い合わせ先：かもがわ出版
TEL 075-432-2868
定価：¥1,942+税 発行：1996年
偏った国際化ではなくバランスのとれた世界認識を育てるための地理、歴史教育を実践している著者が、開発教育をわかりやすく解説。

学習の転換
新しい「学び」の場の創造

問い合わせ先：国土社
TEL 03(3943)3721
定価：¥2,400+税 発行：1997年
グローバル教育の提唱者の一人、D.セルビー氏によるワークショップや日本の学校・地域で行われている参加型授業などを紹介。「新しい「学び」の場」のあり方を問う。

地球市民を育む学習
-Global teacher,
Global learner-

問い合わせ先：明石書店
TEL 03(5818)1171
定価：¥3,300+税 発行：1997年
地域、国土、そこに暮らす人びと、社会・文化・自然現象、そして過去・未来・現在の相互関連、そして知性・感情・精神の相互補完的な関係性を述べた上で、学習者を中心に据え、体験的、相互的、民主主義的、参加型、包括的かつ変革思考の学習アプローチを提唱している。アクティビティも多く紹介されている。

アジアの子ども

問い合わせ先：明石書店
TEL 03(5818)1171
定価：¥1,553+税 発行：1994年
アジア各国の状況を、絵や図を使って紹介する子ども向け教材。

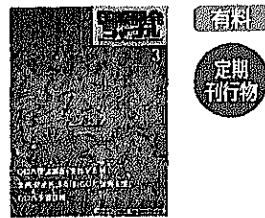
国際協力用語集 第2版

問い合わせ先：国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価：¥3,000+税 発行：1998年
国際協力に携わる方から初心者まで幅広く国際協力関連用語の解説書。

国際協力ガイド2004

問い合わせ先：国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価：¥1,200+税 発行：2002年
「仕事する」「参加する」「学ぶ」の3章で、国際協力に携わりたい人たちに手がかりを提供する情報誌。

国際開発ジャーナル



問い合わせ先：国際開発ジャーナル社
TEL 03(3584)2191
定価：¥850
ODAと国際協力の系統的情報を網羅するわが国唯一の専門月刊誌。

開発教育キット (Part1~4)



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(5423)0561
途上国の児童画スライド(Part1)「動くアジア」スライド(Part2)「アジアのうねり」ビデオ(Part3)「アフリカ大好き」ビデオ(Part4)スライド・ビデオと教師用テキストがセットになった開発教育用の教材。

ODA開発教育キット
世界みんなの笑顔のために



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(5423)0561
小学校6年生向けではあるが、ビデオ、テキストともわかりやすくODAやベトナム、カンボジアを例とした援助が解説されている。

ODAって何だろう?



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(5423)0561
中米のグアテマラ、エル・サルヴァドルにおけるプロジェクトを中心に紹介し、日本の援助をわかりやすく解説。

ODA~アジアで開く未来への扉 国際協力の現場から~



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(5423)0561
定価：¥1,500 発行：1999年
ミャンマー、バングラデシュ、タイで行われたODAの事例について、計画から完成までフォローし「顔の見える援助」をわかりやすく解説。

APIC国際協力マンガシリーズI
アリンゴと日本のママ
~アフリカでよみがえった日本のぞうり~



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03(5423)0561
定価：¥900+税 発行：2000年
アフリカでの国際協力の例をモデルに、現地の人々と日本女性の心の交流を描いたマンガ。楽しみながら国際協力を理解できます。

国際協力プラザ

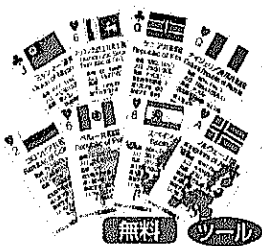


有料
定期
刊行物

問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03 (5423) 0561
定価：¥500

国内外の国際協力に関わる情報を、一般市民向けにわかりやすく掲載している月刊情報誌。

遊びながら世界を知ろう！
「世界をもっと知ろうよ！
トランプ・マップ」



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03 (5423) 0561

子どもたちが遊びながら世界の国々の知識、国旗などに触れ、楽しみながら“世界”を理解するためのトランプカード。トランプ・マップはアメリカ、アジア+大洋州、欧+ロシア・NIS諸編、南北アメリカの4パターンがある。

国際協力プラザ～国際協力 関連機関紹介CD-ROM 2001～2002年版



無料
送料のみ
CD-ROM



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03 (5423) 0561

楽しみながら国際協力のことを知るためのデータ。

ひょうたん島問題

～多文化共生をめざして～



有料
CD-ROM

問い合わせ先：開発教育協議会
TEL 03 (3207) 8085
定価：¥4,800+税 発行：2000年
多文化共生の観点から体験的に理解しようとするシュミレーション教材。CD-ROM、活動ツール、評価シート、解説などで構成。

国際理解教育ビデオ いっしょに学ぼうシリーズ 第2弾 バングラデシュ



有料
ビデオ
テキスト

問い合わせ先：日本ユネスコ協会連盟
TEL 03 (5424) 1121
定価：¥5,000 発行：1998年
バングラデシュを題材として参加型ワークが実践できるような内容となっている。

日本版ユネスコ・ピースパック



有料
CD-ROM

制作：日本ユネスコ協会連盟
掲載URL：www.unesco.or.jp

小学生向けであるが、平和教育の導入の題材として用いるには使いやすい教材。平和、環境のテーマで1コマの授業が組めるようシート状のツールとなっている。

JICA INFO-KIT

学校に行きたい！

～国際協力とわたしたち～



無料
冊子

問い合わせ先：JICA支部・センター
P95参照

主に小学生を対象とした国際協力に興味をもってもらうための導入の小冊子。分かりやすいように、写真や図を多用している。

クロスロード



有料
定期
刊行物

問い合わせ先：協力隊を育てる会
TEL 03 (3402) 2153
定価：¥310

「顔の見える援助」の最前線で活躍している青年海外協力隊員をはじめボランティアの生の声を伝える雑誌(月刊)。

国際協力



有料
定期
刊行物

問い合わせ先：国際開発ジャーナル社
TEL 03 (3584) 2191
定価：¥6,000(年間購読)

途上国の現状やJICA事業に関するさまざまな情報を取り扱ったJICAの月刊広報誌。

JICAフロンティア



有料
定期
刊行物

問い合わせ先：国際協力出版会
TEL 03 (3372) 6771
定価：¥6,000(年間購読)

JICA事業を幅広く紹介している広報誌。読みやすく国際協力の現状を解説。

フォトランゲージ

無料
ツール



問い合わせ先：JICA支部・センター
P95参照

途上国の風景、日常の生活、子どもたちの様子など、カラー写真5枚1セット(7ヶ国分あります)で構成され、生徒の想像力やプレゼンテーション能力を高めることを目的として作成された。

開発途上国ってどんな国？ ～小さな友情から大きな夢へ～



貸出可
ビデオ

問い合わせ先：JICA支部・センター
P95参照

日本人の少年が途上国を訪れ、現地の生活の困難さを目の当たりにし、途上国を認識していくアニメーションビデオ。

約束

～アフリカの水と緑～

貸出回 **ビデオ**

問い合わせ先：JICA支部・センター
P95 参照

日本人の少年とアフリカの遊牧民の子供との友情を描くアニメーションビデオ

それぞれの地平線

貸出回 **ビデオ**

問い合わせ先：JICA支部・センター
P95 参照

ケニア、ブラジル、カンボジアの援助を通じて、技術協力の意義、役割を紹介。

JICAくんの国際協力って知ってる？

JICAくんのようこそ日本へ！

～日本で学ぶ世界の研修員～



貸出回

ビデオ

小学校高学年向けの、国際協力やJICA事業を紹介したビデオ。「ようこそ日本へ！」は開発途上国からの技術研修員に焦点を当てて構成している。授業等で扱いやすいようにいずれも12分にコンパクトに編集されている。

協力隊体験を伝えよう2

～生きる力を育てるワークショップ集～

問い合わせ先：青年海外協力協会 **有料** **書籍**

TEL 03 (3406) 9151

定価：¥1,000 (送料¥270) 発行：2002年

青年海外協力隊経験者が自らの体験に基づいて得た国際理解、異文化理解をそれぞれの地域で伝えようと取り組んできた実践報告書。



高校教師海外研修バックナンバー

無料 **冊子**



問い合わせ先：
JICA支部・センター (P95 参照)

**小中学校教員用副読本
開発教育・国際理解
教育ハンドブック**

国際社会でも活躍できる
日本人をめざして

無料 **書籍**



問い合わせ先：国際協力推進協会
TEL 03 (5423) 0571

総合的な学習の時間における教員の副読本として、具体的手法を多数掲載した書籍

開発教育教材「ワールド・ボックス」

有料 **物品**

問い合わせ先：青年海外協力協会
TEL 03 (3406) 9151
借出料金：3,000円×ボックス数
衣類は2,000円×点数

開発教育のワークショップでは、実際に手に取って眺め、体験できる生活用品や写真などを使用することが多くなっていますが、途上国の品物は手に入れるのが難しいのが現状です。青年海外協力協会 (JOCA) では途上国の民芸品や生活用品等を収集し説明書をつけ、国別・テーマ別に箱に納めた「ワールド・ボックス」を用意しています。

<http://www.joca.or.jp>

物品の例

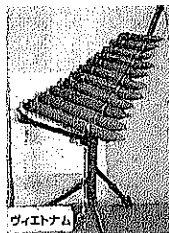


ボリビア

・マンタ (ショール) やボジェーラ (スカート) などの普段着が納められています。

ヴェトナム

・ダン・トゥルンと呼ばれるミニチュアの竹もっきんです。分解して持ち運びできます。



他にもインドネシア、バングラデシュ、タンザニア、トンガなどに加え、新たに中国、メキシコ、エジプト、コートジボワールなどが加わり、26ヶ国分のBOXがあります。

JICAはこんなこともしています

● 中学・高校生エッセイコンテスト

中学生と高校生を対象に国際協力について考える機会の提供の一環として、毎年、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集しています。優秀者には開発途上国への研修旅行がプレゼントされます。2001年度は総数約2万2千点の応募がありました。

● 中学・高校教師海外研修

国際協力に関心があり、授業やクラブ活動などで開発教育を実践している中学校・高校の教員を対象に、開発途上国での国際協力の現場を視察し、今後の授業に役立ててもらうことを目的とした研修プログラムです。約10日間で参加費(自己負担分)は10万円程度です。

● 国際協力実体験プログラム

開発途上国からの研修員を受け入れている全国各地のJICA国際センターでは、研修員との交流、帰国した専門家や青年海外協力隊OB・OGによる講義やワークショップに参加する生徒を募り、国際協力への理解を深めています。

● 青年海外協力隊(JOCV)体験入隊プログラム

青年海外協力隊訓練所(福島県二本松、長野県駒ヶ根)では、地域の中学生に協力隊活動を理解してもらうために体験入隊プログラムを実施しています。

● 大学生論文コンテスト

大学生、大学院生を対象に、開発途上国が抱える課題克服に向けた国際協力の取組みに関する論文を募集しています。優秀者には欧州や東南アジアへの航空券などがプレゼントされます。2001年度の応募総数は363点でした。

● JICAインターン

将来、国際協力の分野で活躍することを希望する大学生・大学院生を対象に、JICAで短期的に実務を経験し、国際協力分野での研究を深める機会を提供します。

● 講師出前講座「サーモン・キャンペーン」

開発途上国で国際協力に携わったJICA職員、青年海外協力隊OB・OG、来日中の研修員や帰国専門家などを全国各地の学校や地方自治体、国際交流団体、NGO講座などに講師として派遣します。講師は自らの経験をもとに写真やビデオを見せたり地図を広げたりしながら、わかりやすく講義します。

● ODA民間モニター

海外での国際協力の現場を一般市民の目で見てもらうプログラムです。モニターの方の意見や提言は今後のODA事業の改善に役立てていきます。各都道府県から一般公募で参加を募っています。

■ JICAはこんなことを募集しています

年 齢	20歳		30歳	40歳	50歳	60歳→
	(中学校生活)	(高校生活)	(大学生)	社会人		
募集内容	中学生エッセイコンテスト	高校生エッセイコンテスト	大学生論文コンテスト			
	青年海外協力隊(JOCV) 募集対象年齢(20才~39才)			シニア海外ボランティア 募集対象年齢(40才~69才)		
	日系社会青年ボランティア 募集対象年齢(20才~39才)			日系社会シニアボランティア 募集対象年齢(40才~69才)		
	(個別) 専門家 登録可能年齢(30才~59才)					
	ジュニア専門員 募集対象年齢(25才~35才)		国際協力専門員 募集対象年齢(35才~50才)			
(先生方には中学教師・高校教師海外研修)						
青年招へい合宿セミナー 参加者対象年齢(20代後半~40才)						

■地域国際化協会一覧

都道府県	団体名	所在地	電話番号 (FAX番号)
北海道	(社)北方圏センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西7丁目 道庁別館12F	011-221-7840 (011-221-7845)
青森県	(財)青森県国際交流協会	〒030-0803 青森市安方1-1-32 水産ビル5F	017-735-2221 (017-735-2252)
岩手県	(財)岩手県国際交流協会	〒020-0025 盛岡市大沢川原2-4-20 岩手県立国際交流プラザ内	019-654-8900 (019-654-8922)
宮城県	(財)宮城県国際交流協会	〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7F	022-275-3796 (022-272-5063)
秋田県	(財)秋田県国際交流協会	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館4F	018-864-1181 (018-864-0160)
山形県	(財)山形県国際交流協会	〒990-8580 山形市城南町1-16-1 霞城セントラル2F 山形県国際交流センター	023-647-2560 (023-646-8860)
福島県	(財)福島県国際交流協会	〒960-8103 福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2F	024-524-1315 (024-521-8308)
茨城県	(財)茨城県国際交流協会	〒310-0851 水戸市千波町後川745 県民文化センター分館2F	029-241-1611 (029-241-7611)
栃木県	(財)栃木県国際交流協会	〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内	028-621-0777 (028-621-0951)
群馬県	(財)群馬県国際交流協会	〒371-0026 前橋市大手町2-1-1 群馬会館3F	027-243-7271 (027-243-7275)
埼玉県	(財)埼玉県国際交流協会	〒336-0002 さいたま市北浦和5-6-5 浦和地方庁舎3F	048-833-2992 (048-833-3291)
千葉県	(財)ちば国際コンベンションビューロー	〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 W.B.G マリブイースト14F	043-297-0245 (043-297-2753)
東京都	(財)東京国際交流財団	〒100-0005 千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラム11F	03-5221-9021 (03-5221-9011)
神奈川県	(財)神奈川県国際交流協会	〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ1F	045-896-2626 (045-896-2945)
新潟県	(財)新潟県国際交流協会	〒950-0965 新潟市新光町16-4 荏原新潟ビル3F	025-285-6020 (025-283-5931)
富山県	(財)とやま国際センター	〒930-0856 富山市牛島新町5-5 (タワー111 4F)	076-444-2500 (076-444-2600)
石川県	(財)石川県国際交流協会	〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール3F	076-262-5931 (076-263-5931)
福井県	(財)福井県国際交流協会	〒910-0004 福井市宝永3-1-1	0776-28-8800 (0776-28-8818)
山梨県	(財)山梨県国際交流協会	〒400-0035 甲府市飯田2-2-3 山梨県国際交流センター内	055-228-5419 (055-228-5473)
長野県	(財)長野県国際交流推進協会	〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県庁内	026-235-7186 (026-235-4738)
岐阜県	(財)岐阜県国際交流センター	〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館6F	058-277-1013 (058-272-8839)
静岡県	(財)静岡県国際交流協会	〒420-8601 静岡市追手町9-6 静岡県庁西館4F	054-221-3355 (054-251-8148)
愛知県	(財)愛知県国際交流協会	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 愛知県三の丸庁舎内	052-961-8744 (052-961-8045)
三重県	(財)三重県国際交流財団	〒514-0009 津市羽所町700 アスト津3F みえ県民交流センター	059-223-5006 (059-223-5007)
滋賀県	(財)滋賀県国際協会	〒520-0801 大津市におの浜1-1-20ピアザ淡海2F	077-526-0931 (077-510-0601)
京都府	(財)京都府国際センター	〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町901 京都駅ビル9階	075-342-5000 (075-342-5050)
大阪府	(財)大阪府国際交流財団	〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1番 りんくうゲートタワービル17F	0724-60-2371 (0724-60-2377)
兵庫県	(財)兵庫県国際交流協会	〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1 国際健康開発センタービル内	078-230-3260 (078-230-3280)
奈良県	(財)なら・シルクロード博 記念国際交流財団	〒630-8215 奈良市東向中町28 奈良近鉄駅ビル6F	0742-27-1822 (0742-27-2434)
和歌山県	(財)和歌山県国際交流協会	〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山県立県民交流プラザ「和歌山ビック愛」8F	073-435-5240 (073-435-5243)

都道府県	団体名	所在地	電話番号 (FAX番号)
鳥取県	(財)鳥取県国際交流財団	〒680-0947 鳥取市湖山町西4-110-5 鳥取空港国際会館1F	0857-31-5951 (0857-31-5952)
島根県	(財)しまね国際センター	〒690-0826 松江市学園南1-2-1 くにびきメッセ2F	0852-31-5056 (0852-31-5055)
岡山県	(財)岡山県国際交流協会	〒700-0026 岡山市奉還町2-2-1 岡山国際交流センター内	086-256-2000 (086-256-2226)
広島県	(財)ひろしま国際センター	〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F	082-541-3777 (082-243-2001)
山口県	(財)山口県国際交流協会	〒753-0811 山口市吉敷3185-1	083-925-7353 (083-920-4144)
徳島県	(財)徳島県国際交流協会	〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6F	088-656-3303 (088-652-0616)
香川県	(財)香川県国際交流協会	〒760-0017 高松市番町1-11-63 アイバル香川内	087-837-5908 (087-837-5909)
愛媛県	(財)愛媛県国際交流協会	〒790-0844 松山道後一万733番	089-917-5678 (089-917-5670)
高知県	(財)高知県国際交流協会	〒780-0870 高知市本町4-1-37 丸の内ビル2F	088-875-0022 (088-875-4929)
福岡県	(財)福岡県国際交流センター	〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡8F	092-725-9204 (092-725-9205)
佐賀県	(財)佐賀県国際交流協会	〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 佐賀県庁内	0952-25-7921 (0952-25-7417)
長崎県	(財)長崎県国際交流協会	〒850-0873 長崎市諏訪町5-20	095-823-3931 (095-832-2400)
熊本県	熊本国際協会	〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1 熊本県庁国際課内	096-385-4488 (096-385-4488)
大分県	(財)大分県国際交流センター	〒870-0047 太分市中島西3-1-7	097-538-5161 (097-538-5162)
宮崎県	(財)宮崎県国際交流協会	〒880-0804 宮崎市宮田町1-6 宮崎県国際センター内	0985-32-8457 (0985-32-8512)
鹿児島県	(財)鹿児島県国際交流協会	〒892-0842 鹿児島市東千石町1-38 鹿児島商工会議所ビル11F国際交流プラザ内	099-225-3279 (099-225-3284)
沖縄県	(財)沖縄県国際交流・人材育成財団	〒900-0034 那覇市東町1-1 那覇東町会館7F	098-941-6755 (098-941-6812)

札幌市	(財)札幌国際プラザ	〒060-0001 札幌市中央区北1条西3 札幌MNビル	011-211-2105 (011-232-3833)
仙台市	(財)仙台国際交流協会	〒980-0856 仙台市青葉区青葉山仙台国際センター内	022-265-2211 (022-265-2485)
千葉市	(財)千葉市国際交流協会	〒260-0028 千葉市中央区新町1000 センシティタワー12F	043-238-8000 (043-238-8550)
横浜市	(財)横浜市国際交流協会	〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9F	045-671-7128 (045-671-7187)
川崎市	(財)川崎市国際交流協会	〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町237-1 川崎市国際交流センター内	044-435-7000 (044-435-7010)
名古屋市	(財)名古屋国際センター	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1	052-581-5678 (052-581-5629)
京都市	(財)京都市国際交流協会	〒606-8536 京都市左京区栗田口鳥居町2-1	075-752-3010 (075-752-3510)
大阪市	(財)大阪国際交流センター	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6	06-6772-5931 (06-6772-7600)
神戸市	(財)神戸国際協力交流センター	〒651-0087 神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館20階	078-291-0641 (078-291-0691)
広島市	(財)広島平和文化センター	〒730-0811 広島市中区中島町1-5 広島国際会議場3F	082-242-8879 (082-242-7452)
北九州市	(財)北九州国際交流協会	〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター3F	093-662-0055 (093-662-6622)
福岡市	(財)福岡国際交流協会	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館5F	092-733-5630 (092-733-5635)

■問い合わせ先 国際協力事業団（JICA）国内機関一覧

北海道国際センター（札幌）

（担当地域：帯広市を含む東部地域以外）
〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25
TEL 011 (866) 8333

北海道国際センター（帯広）

（担当地域：帯広市を含む東部地区）
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2
TEL 0155 (35) 1210

東北支部

（担当地域：青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県）
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービル15階
TEL 022 (223) 5151

二本松青年海外協力隊訓練所

（担当地域：福島県）
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2
TEL 0243 (24) 3200

筑波国際センター

（担当地域：茨城県）
〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6
TEL 0298 (38) 1111

東京国際センター（幡ヶ谷）

（担当地域：栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都23区・新潟県）
〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-5
TEL 03 (3485) 7051

海外移住センター（現 横浜センター）

（担当地域：神奈川県）
〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1
TEL 045 (663) 3251

八王子国際センター

（担当地域：東京都23区以外・山梨県）
〒192-0043 東京都八王子市暁町2-31-2
TEL 0426 (26) 5411

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

（担当地域：長野県）
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL 0265 (82) 6151

中部国際センター

（担当地域：静岡県・岐阜県・愛知県・三重県）
〒465-0094 愛知県名古屋市中東区亀の井2-73
TEL 052 (702) 1391

北陸支部

（担当地域：富山県・石川県・福井県）
〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1
金沢パークビル3F
TEL 076 (233) 5931

大阪国際センター

（担当地域：滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県）
〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25-1
TEL 0726 (41) 6900

兵庫国際センター

（担当地域：兵庫県）
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
TEL 078 (261) 0341

中国国際センター

（担当地域：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）
〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1
TEL 0824 (21) 6300

四国支部

（担当地域：徳島県・香川県・愛媛県・高知県）
〒760-0050 香川県高松市亀井町5-1
百十四ビル13階
TEL 087 (833) 0901

九州国際センター

（担当地域：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県）
〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1
TEL 093 (671) 6311

沖縄国際センター

（担当地域：沖縄県）
〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1
TEL 098 (876) 6000

以上の最寄りの支部・センターにお気軽にお問い合わせ下さい。

総合的な学習の時間・選択教科に役立つ国際理解教育の手引き
同じ地球という空の下で

平成13年度 中学校教師海外研修に参加して

平成14年3月発行

発行者 国際協力事業団

〒151-8558

東京都渋谷区代々木2丁目1番1号

新宿マインズタワー9階

TEL 03-5352-5628 FAX 03-5352-5018

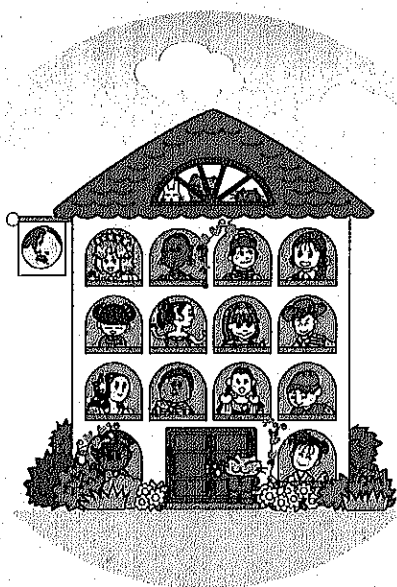
URL <http://www.jica.go.jp/Index-j.html>

総合的な学習の時間・選択教科に役立つ

国際理解教育の手引き

同じ"地球という空の下で"

■平成13年度中学校教師海外研修に参加して■



JICA
国際協力事業団

J
LIB